

あとがき

耳鼻咽喉科における論文は症例報告、臨床統計、臨床研究、基礎研究などに大きく分けられ、当然のことですが、時代によりさまざまな変遷を経て現在に至っています。言語も日本語、英語のほか、海外誌にドイツ語で投稿されていた先生方もいました。日耳鼻機関誌である ANL にもドイツ語、仏語論文が掲載されていたときがあり、abstract は英語とドイツ語が必須の時期もありました。今の若手の先生には信じられないことと思います。本誌『耳鼻咽喉科・頭頸部外科』もかつては『耳鼻咽喉科』という名称でたくさんの貴重な症例報告、臨床統計の論文投稿がありました。私も若い頃に初めて書いた論文の掲載は、本誌だったと記憶しています。私は昭和 53 (1978) 年の卒業ですが、その頃は英語の論文投稿の重要性はもちろんのことでしたが、まだそれほど多くはなく、日本語論文が優勢でした。その後、当然のことながら英文誌への投稿が増加し、impact factor の出現により飛躍的に英語論文の投稿にシフトしていきました。特に教授選における impact factor の評価の占める割合が高くなり (特に基礎系)、総合点は何点かということが多く語られました。しかし外科系では、またまたその反動が起こり、「impact factor の高過ぎる先生は逆に臨床は大丈夫なのか？」というような逆の評価がなされはじめ、現在はある程度のレベルに落ち着いてきた感があります。その間、本誌も少しずつではありますが version を変えながら、また総説を掲載するライバル誌の出現に遭遇しながら、その存在感を十分に示してきたと思います。ただ、昨今の耳鼻咽喉科勤務医の減少にリンクして症例報告の投稿も若干減少傾向にあります。マンパワーの小さい施設では臨床の仕事に追われ、まとめる時間の確保が困難なこと、さらには基礎研究を行う余裕も減っています。しかしこういふときこそ若手の勤務医、開業医の先生方に貴重な症例の検証、報告をしてもらうことの意義は高いと考えますし、日本語でいくつか書き上げると、次は英語で書いてみようという意欲が出ると思います。Impact factor はすぐには期待できませんが、英語論文 beginner の若手医師のために、本誌も近い将来英文の case report を掲載するべく変遷していきたいと思っています。

(吉原俊雄)

編集顧問

大和田健次郎

佐々木 好 久

曾 田 豊 二

坂 井 真

小 田 恂

編集委員

八 木 聰 明

竹 中 洋

吉 原 俊 雄

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (第 81 巻 第 3 号)

発 行 株式会社 医学書院

2009 年 3 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

代 表 者 金 原 優

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

〒 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710 (担当 西塚・中田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802 (編集室)

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693 番

印 刷 所 三報社印刷株式会社 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

2009 年年ぎめ予約購読料 39,950 円
※MedicalFinder パーソナルオプション付 52,000 円
増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料小社負担

・医学書院ホームページ(インターネット)は

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/> です。

・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/> です。

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ JICIS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

・ 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (株) 日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。